



『 抗原って何？抗体って何？ 』

毎年インフルエンザの流行シーズンが近くなると、病院などへワクチン接種に行かれる方も多いのではないのでしょうか。インフルエンザワクチンには無毒化されたインフルエンザウイルスが含まれていて、人体に取り込まれると免疫システムが働き、ウイルスに対抗する、ある種のタンパク質が作られます。これが抗体です。この抗体が実際のウイルス（抗原）が侵入してきたときに出勤し、撃退します。

抗原はウイルスなどの病原体に限りません。スギ花粉症の人ならスギ花粉が抗原になります。花粉は花粉症ではない人には無害ですよね。このようにある人の体内では悪さをしないものが、別の誰かの体に入った途端に抗原として悪さをすることがあります。

○型の血液なら誰にでも輸血できるという話を聞いたことはありませんか？これは○型の血液に含まれる血液型抗原が少ないため、他の血液型の人に輸血しても抗原抗体反応による副作用が起きにくいところからきています。

鹿児島厚生連病院
臨床検査科
藤 健介